

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	12
基本施策	4	商工業の振興	評価責任者	産業振興課長 石井 弘道
単位施策	2	多様なビジネス展開の促進		

1 施策の概要

基本方針	商工会等と連携し、研修会の充実、異業種交流の拡大等を進め、起業家支援や新しいビジネスモデルの発見等多様なビジネス展開につなげ、内発的な地域産業を育成する。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	商工会が中心となって研修会や新たな事業展開を進めるため、地域産業の育成に努力している。	商工会が中心となって研修会や新たな事業展開を進めるため、地域産業の育成に努力している。又、だったんそば焼酎が3周年記念として「原酒」の製造を行った。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	研修会や異業種交流の拡大に努めているが、起業家や新たなビジネスモデルの展開につながっていない。	研修会や異業種交流の拡大に努めているが、中々、起業家支援や新たなビジネスモデルの展開につながっていない状況である。

2 基本施策指標

指標1	指標名	異業種進出企業数						
	定義等	異業種進出企業数の累計						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							5法人
	実績値	2法人	2法人	2法人	2法人	2法人		
指標2	指標名	異業種連携により開発された特産品の累積数						
	定義等	異業種連携により開発された特産品の累積数						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							5品目
	実績値	1品目	1品目	1品目	1品目	1品目		
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	【再掲】神門プロジェクト事業	商工観光係	2,260	B	継続/現状維持	A
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	商工会と連携をしながら起業家の支援や、多様なビジネス展開につなげることは妥当と判断する。
② 有効性	B	異業種交流の拡大や、多様なビジネスの展開につながっていない。
③ 効率性	B	住民ニーズに応じた流通形態の見直しや、新たなビジネスモデルの展開につながっていない。
④ 公平性	B	韃靼そば焼酎については、町内外を問わず多くの人々に提供されていることから、公平性が保たれていると判断する。
⑤ 町民意見の反映	B	町民の意見も反映しながら、関係団体とも協議を進めている。

5 総合評価【A～D】

- A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等
- B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等
- C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等
- D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等
(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
町外流出防止に向けた新たなビジネス形態のあり方など、社会情勢の動向を見ながら進める必要があると判断している。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
大型店への消費流出を防ぐ上で、今後においても継続していく必要がある。	同左	

*今後の方向性の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了
休止
廃止